10月は米山月間

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

vol. 319
2026年10月13日
発行

1 第９代理事長に水野功氏が就任

９月15日に開催された当財団評議員会にて、第９代理事長に水野功氏が選任されました。新理事長より、就任のご挨拶をご紹介します。

このたび、ロータリー米山記念奨学会の第９代理事長を拝命いたしました水野功です。長年にわたり本事業を支えてこられた先輩会員の皆さまに、心より敬意と感謝を申し上げます。米山奨学事業は、単に奨学金を提供するだけではありません。日本で学ぶ外国人留学生を温かく迎え、一人ひとりに寄り添い、人と人との心をつなぐ事業です。ここで育まれた友情と信頼が、やがて世界の平和と相互理解につながっていくものと信じています。私は、ロータリーの仲間とともに歩んできた経験を生かし、奨学生の皆さんの夢を応援するとともに、世話クラブやカウンセラーの皆さまとのつながりを、さらに深めてまいりたいと考えております。「人を育て、心をつなぎ、未来をつくる」、この思いを大切に、皆さまと力を合わせて米山奨学事業の発展に努めてまいります。引き続き、温かいご支援とご協力を、心よりお願い申し上げます。

2 米山月間の由来

国際ロータリー理事会が指定したロータリーの特別月間に加え、日本独自の月間テーマとして、10月は米山月間となっています。なぜ、10月なのでしょうか？

1975年８月、米山梅吉翁が逝去した４月28日までの１週間を「米山週間」とすることが決定しました。ある地区ですでに行われていた強化活動を全国へ広げ、米山奨学事業を促進することが目的でした。しかし1980年度になると、米山週間は４月から10月１日～7日へと変更されました。その理由はいくつかあります。一つには「ロータリー雑誌週間」が1978年度から４月となり、重なってしまったこと。また、４月では各クラブへ送付される事業報告書などの資料数字が約１年前のものとなることや、採用されたばかりの奨学生に卓話を依頼することに無理がある、交通機関のストライキが多い、など現実的な支障があったためです。そして何よりも、東京ＲＣによる米山基金から日本全地区クラブの共同事業とする決議や合意が行われた地区大会が、いずれも10月だったこと、これが大きな理由とされています。

1983年からは週間制度が「月間」となり、10月が米山月間として定着し、今に至っています。

3 寄付金速報 ― 米山月間にご協力を！ ―

前年同期比

－3.1％

普 －2.3％　特 －4.1％

９月までの寄付金は、前年同期と比べて3.1％減（普通寄付金:2.3％減、特別寄付金:4.1％減）、約1,100万円の減少となりました。普通寄付金が約350万円減少、特別寄付金が約750万円減少しており、９月単月の寄付実績が全体の寄付額減少に影響しています。

10月は年に一度の米山月間です。引き続きご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

4 評議員会を開催

9 月 15 日、第 18 回定時評議員会を都内にて開催し、評議員 19 人が出席、役職理事 5 人と監事 3 人が列席しました。開会に先立ち、今年逝去された湯浅外志男評議員、堀川貴史評議員への黙とうを行いました。

評議員会では、出席評議員の中から議長を選ぶことが定款で定められており、第 2620 地区の松村友吉評議員が議長に選出されました。松村議長の進行のもと、報告事項として、①理事会決議報告 ②職務執行の状況報告 ③2025 年度事業報告が資料に基づき説明され、続いて理事会から上程された「評議員後任候補者選任」「2026 年度理事・監事選任」「2025 年度計算書類承認」など 6 議案が諮られ、全て原案通り承認可決されました。評議員会での理事選任を受けて、決議の省略による第 53 回理事会（書面決議）を開催し、第 9 代理事長に就任された水野功氏が臨席。就任挨拶をされました。

また、評議員会終了後にセレモニーが開催され、この 9 月をもって退任となる評議員と、役職理事を退任し名誉理事長に就任される若林紀男氏へ感謝状が贈呈されました。

5 台北国際大会 記録映像完成

当財団では、公式の YouTube チャンネルにて、当事業に関する動画を順次更新しています。

今回新たに、「世界へ伝えたい！米山の愛」を公開しました。今年 6 月、台北で開催されたロータリー国際大会に、10 年ぶりにブース出展および分科会を開催しました。大盛況となったブースや来場者インタビュー、4 人の米山学友が登壇した分科会の様子などをまとめた記録映像のフルバージョンです。ぜひご覧ください。ご希望があれば、当財団広報担当より動画ファイルをお送りすることも可能です。地区のセミナーや例会などでご活用ください。

6 第 2580 地区学友会が「米山梅吉記念館秋季例祭」に参加

9 月 19 日、米山梅吉記念館（静岡県）で開催された秋季例祭に、東京から第 2580 地区米山学友会の 17 人が参加しました。同記念館の例祭は、春と秋の年 2 回開催され、日本各地からロータリー会員が集う記念行事です。

今回の秋季例祭では第 2580 地区学友会に 10 分間の時間が設けられ、会長のグエン ティ キャット ウィンさん（2005-07／東京ＲＣ）が学友会活動について発表しました。第 2580 地区と第 2620 地区は、2015 年から柿田川湧水公園清掃奉仕作業を合同で行っており、これまでに築いたつながりを深めるだけでなく、例祭の参加を経て多くの学びがあったそうです。

学友会について発表するウィンさん

参加したウィン会長は、「米山梅吉記念館の例祭という特別な場で発表の機会をいただき、大変光栄でした。今回の交流をきっかけに第 2580 地区と第 2620 地区の学友会がさらに連携を深め、地区を越えたつながりを広げていきたいです。この経験を糧に、今後も多くの学友が楽しく参加できる活動を続けてまいります」と抱負を語りました。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel：03-3434-8681 Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：https://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：長尾（ながお）